

経常損益・中間純損益

平成17年度通期では黒字を予想

経常損益は、不良債権処理額が大きく増加したことから、前年同期を225億円下回る178億円の経常損失となりました。中間純損益は、経常損失のほか固定資産の減損処理などにより、前年同期を143億円下回る107億円の中間純損失となりました。しかし、平成17年度通期では黒字確保を予想しています。

中間純利益(△は中間純損失)の推移

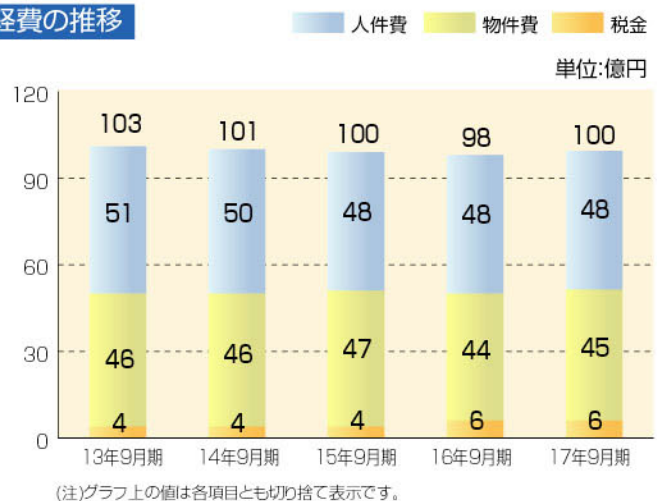


経費

経費の抑制を継続

経費は、コンピューターシステム関係の業務委託費の増加などから、前年同期比2億円増加の100億円となりました。平成8年9月期のピークとの比較では23%の削減となっており、経費の抑制を継続しています。

経費の推移



自己資本比率

自己資本比率は10%台の高水準

自己資本比率は、経営の安全性や健全性を図る指標の一つで、企業の利益や資本金などが貸出金などの資産規模に比べてどの程度充実しているかを表します。この比率は、国内のみで営業している銀行は4%(国内基準)以上、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上が必要です。当行の自己資本比率は、国内基準の2倍以上となる10.05%の高水準を達成しています。

自己資本比率の推移

